

平成 21 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

平成 21 年 2 月

木津川出張所管内河川レンジャー 山村武正
福井波恵
田中秀行

目 次

1. 木津川出張所管内河川レンジャー 山村武正	1
1.1. 活動テーマと活動分野.....	1
1.2. 木津川川調べ.....	2
1.2.1. 活動 a 自然観察会(植物).....	2
1.2.2. 活動 b 親子自然観察会(昆虫).....	6
1.2.3. 活動 c 川で遊ぼう 魚をとろう(魚).....	10
1.2.4. 活動 e 親子花見の会.....	16
1.2.5. 活動 d ツバメのねぐら入り観察.....	20
1.3. 木津川清掃.....	24
1.3.1. 活動 f 京田辺市域.....	24
1.3.2. 活動 g 木津川クリーンアップ.....	27
1.4. 貴重植物モニタリング(全域).....	30
1.5. 木津川ってどんな川.....	33
1.5.1. 活動 h 皆でつくろう木津川紹介.....	33
1.5.2. 活動 i 木津川出前講座.....	36
1.5.3. 活動 j 京田辺市 市民文化祭展示出店.....	39
1.5.4. 活動 j 木津川レンジャー展示 せせらぎまつり.....	42
1.5.5. 活動 j 木津川展示会.....	45
1.5.6. 木津川ってどんな川活動発表会.....	48
1.6. 地域で考えよう防災.....	51
1.7. 防災施設の見学.....	54
1.8. 活動 木津川沿川活動団体交流会.....	58
2. 木津川出張所管内河川レンジャー 福井波恵	61
2.1. 活動テーマと活動分野.....	61
2.2. 木津川調べ活動 1 自然観察会 デ・レーケ堤・天井川・生き物たち.....	63
2.3. 木津川調べ活動 2 川であそぼう 魚とり.....	66
2.4. 木津川川調べ 活動計画 3 川の学校.....	73
2.5. 木津川川調べ活動 4 上粕川のジャンボタニシ駆除・生き物調査.....	76
2.6. 木津川調べ活動 5 木津川モニタリング 植物、魚、鳥.....	79
2.7. 木津川清掃活動 6 木津川クリーンアップ.....	82
2.8. 木津川ってどんな川活動 7 環境祭り.....	86
2.9. 木津川ってどんな川活動 8 木津川展・・・木津川の紹介と植物、魚、鳥の展示物.....	89
2.10. 木津川ってどんな川活動 9 木津川沿川活動団体活動交流会.....	92
2.11. 木津川ってどんな川活動 10 出前授業.....	95
3. 木津川管内河川レンジャー 田中 秀行	97

3.1. 活動テーマと活動分野.....	97
3.2. 木津川調査.....	99
3.3. 木津川調査.....	106
3.4. 木津川清掃.....	111
3.5. 川生物モニタリング	115
3.6. 木津川ってどんな川	118

1. 木津川出張所管内河川レンジャー 山村武正

1.1. 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする山村レンジャーは以下の活動テーマのもと、14の活動を実施します。

活動テーマ

木津川を身近に

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
環境保全を図る活動	木津川川調べ 活動a 自然観察会（植物） 活動b 親子自然観察会（昆虫） 活動c 川で遊ぼう 魚をとろう(魚) 活動d ツバメのねぐら入り観察 活動e 親子花見の会 木津川清掃 活動f 京田辺市域 活動g 全流域 木津川植物モニタリング（全域）
河川の適正な利用、歴史・文化の普及活動	木津川ってどんな川 活動h 皆でつくろう木津川紹介 活動i 木津川出前講座 活動j 京田辺市文化祭 中部住民センター祭り 流域センター 木津川展示会 府環境フェスティバル
防災の推進を図る活動	地域で考えよう防災 防災施設の見学 森排水機場 宇治川排水機場 京大防災研究所 三栖閘門
	木津川沿川活動団体交流会

1.2. 木津川川調べ

1.2.1 . 活動 a 自然観察会（植物）

（ 1 ） 活動目的

堤防は人々の暮らしや財産を水害から守る役割を受持っている貴重な施設です。この施設の管理に草刈が行われています。木津川の堤防は、河川の砂を使っているため、貧栄養で貴重な植物が生育しています。それらは以前、家畜（牛など）の餌や堆肥に使った、土手や里山道の草が使われていました。ところが、農業の機械化などで必要性がなくなり、草刈が行われなくなりました。

しかし、国土交通省の河川管理上行われている草刈は結果的に以前の農家の自然管理の役割を踏襲維持されて、貴重植物の生育に大きな貢献をしています。やましろ里山の会の調査によって木津川の堤防には 917 種の植物が生育し、そのうち絶滅危惧植物 38 種を確認しています。また、絶滅危惧種には指定されていませんが、見かけることが少なくなった花の大群落（花のジュータン）もあちこちに残されています。こうした素晴らしい自然を身近に接する機会として自然観察会（植物）を開催します。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4 月		実施計画の立案 広報の手配
	5 月	5 月 9 日（土）第 1 回観察会	資料作成 講師・スタッフ打合せ 結果のまとめ
	6 月		実施計画の立案 広報手配
	7 月		参加呼びかけ作業 チラシ配布 講師・スタッフ手配
	8 月		講師・スタッフ打合せ
	9 月	9 月 12 日（土）第 2 回観察会	現地下見 資料作成 結果まとめ
	10 月		
	11 月		
	12 月		
平成 22 年	1 月		
	2 月		
	3 月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員：30人/回

(3) 実施内容

植物に関するお話と現地説明

木津川に関する過去の洪水と安全と安全対策のお話

当日のプログラム

9:30 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介

10:00 お話 木津川に関する洪水と安全対策

10:20 現地に移動

10:40 植物観察と解説

11:45 まとめと感想発表

12:15 現地解散

(4) 実施日

第1回観察会 平成20年5月9日(土)

第2回観察会 平成20年9月12日(土)

(5) 実施場所

第1回観察会 左岸 煤谷川河口～遠藤川

集合場所 近鉄狛田駅

トイレ



第2回観察会 右岸 城陽富野～山城大橋

集合場所 近鉄富野荘駅

トイレ



(6) 広報・募集方法

河川レンジャーホームページで募集案内

運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内

一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内

やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで呼びかけ

運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などへの募集案内チラシを置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会:5名(運営補助、安全管理)

講師(予定):光田重幸氏(当該運営会議代表) 植物に関するお話

:淀川河川事務所 木津川の洪水と安全対策のお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の印刷

学校教育機関その他名簿に基づく諸団体への参加案内の送付

運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事記載依頼

新聞各社へ記事記載案内と記載要請協力

資料・アンケートの印刷

講師謝金（必要時）

沿川自治体

このような取り組みが連携できる組織や団体を自治体からの紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師依頼、強カスタッフ依頼と打合せ

募集案内チラシ作製

借用物などの手配と点検

当日の運営

アンケート結果のまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

出発時間を 9 時 30 分に改善する

(11) 活動を行ううえでの課題等

広報誌掲載のためのチラシや募集案内で必要不可欠な項目の指摘

公的機関のアクセス図の提供

(12) その他

1.2.2 . 活動 b 親子自然観察会（昆虫）

（ 1 ） 活動目的

40年前の木津川は一面が白砂で樹木など影も形もなかった。上流のダム建設により水量が調整され、大きな出水がなくなり、高水敷への浸水も少なくなってきたため、樹木が大きくなり、今日では林状を呈するようになってきた。従来 of 草に加えて樹木の昆虫も発見できるようになってきた。

この木津川ではジャコウアゲハとホソオチョウによる在来種と外来種の関係が特に面白く、自然を身近に接する機会として親子自然観察会を開催する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施計画の立案 広報手配参加 呼びかけ手配 チラシ配布 スタッフ手配 雨天対策として会場確保
	5月		
	6月	21日（日）実施	現地確認 資料作成 講師とスタッフの手配と打合せ 結果のまとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
定員：小学生 30 名。保護者 30 名

(3) 実施内容

昆虫に関するお話と現地説明 講師：桜谷保之氏（近畿大学教授）
ミツバチのお話 説明：養蜂家（小林さん）
風景のお話（木津川の昔の風景） 説明：山村レンジャー

当日のプログラム

9：45 受付 開会の挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介
10：00 現地に移動 途中昆虫採取
10：50 採集終了 会場に引き返す
11：20 採集昆虫の説明 まとめ 感想を述べる
12：00 閉会挨拶 解散

(4) 実施日

平成 20 年 6 月 21 日 （日） 雨天実施 （室内で）

(5) 実施場所

集合：京田辺市草内 中部住民センター
昆虫採集地：木津川左岸 山城大橋～近鉄鉄橋



(6) 広報・募集方法

河川レンジャーホームページで募集案内

運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内

一般新聞への案内記事掲載依頼 当日取材案内

やましろ里山の会ホームページ掲載 週刊ニュースで呼びかけ

運営会議対象区域内の学校教育機関、図書館などへの募集案内チラシを置く

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ 山代里山の会:5名(運営補助、安全管理)

講師(予定):光田重幸氏(当該運営会議代表) 植物に関するお話

:淀川河川事務所 木津川の洪水と安全対策のお話

(8) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の印刷

学校教育機関その他名簿に基づく諸団体への参加案内の送付

運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事記載依頼

新聞各社へ記事記載案内と記載要請協力

資料・アンケートの印刷

講師謝金(必要時)

沿川自治体

このような取り組みが連携できる組織や団体を自治体からの紹介

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師依頼、強力スタッフ依頼と打合せ

募集案内チラシ作製

借用物などの手配と点検

当日の運営

アンケート結果のまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

出発時間を 9 時 30 分に改善する

(11) 活動を行ううえでの課題等

広報誌掲載のためのチラシや募集案内で必要不可欠な項目の指摘

公的機関のアクセス図の提供

(12) その他

1.2.3. 活動c 川で遊ぼう 魚をとろう(魚)

(1) 活動目的

河川の整備、ダム建設によって川の環境が大きく変わる中、木津川に生息する魚の種類も多く、堤防や河川敷の動植物の豊かさなど自然の姿を多く残している。少しは改善されたとはいえペットボトルや空き缶や生活ゴミ、生活排水による水質悪化、砂利の蓄積によるワンドの減少、外来魚やカワウなどが原因となって、魚類をはじめとする水生生物の減少は事実です。また、川の汚れと、事故への危険から子ども達を川から遠避けられていることもあり、川との関わりはますます少なくなってきている。このような現実の中、川で遊ぶことは、子どもたちにとって貴重な体験になっている。文句なしに楽しいこと、川の抱えている多くの課題に気づきます。安全な遊び方を学ばせることで、川を守り育てていく人づくりにつながっていくこと、川を愛し親しむ心を育てることが川を守り育てることに繋がっていきます。

昨年度の取り組みでは3回で510人の参加が申し込まれ、安心して参加できる催しに大きな期待が寄せられました。

「川で遊ぼう。魚をとろう」は以下の目的のもとに実施します。

木津川に生息する魚、水生生物を捕まえる楽しさを経験し、木津川に様々な生き物がいることを知る。

魚とりや水質検査を通して、木津川の現状を知り、木津川への関心を高める。

親子で自然に親しむ活動を体験することで自然；環境への関心を深める。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		実施計画の立案 会場（場所） の確認 駐車場の確保 広報手 配 参加呼びかけの手配 チラ シ配布 講師とスタッフ手配 会場確保（雨天対策として）
	6月		借用物手配
	7月	26日（日）	
	8月	23日（日）	会場への通路整備 資料作成 案内看板の作成と設置 安全 対策の打合せ 講師スタッフ 打合せ 水質検査報告 結果とまとめの作成
	9月	13日（日）	
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 運営会議対象区域内的の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
定 員 各会場 100名（小学生50名 保護者50名）
幼児（保護者随伴のこと）

(3) 実施内容

木津川の説明 水害のお話 水のお話をする 水の音を聞く
魚の取り方を教える
水難救助の見学
当日のプログラム
9：00 スタッフ集合 受付
9：30 会開の挨拶 主旨説明 講師紹介 注意事項連絡
10：00 魚取り開始 水質検査 現地での注意事項徹底
11：00 休憩
11：15 自由時間 魚取り
12：00 まとめ 総括 感想を書く 後片付け
13：30 解散

(4) 実施日

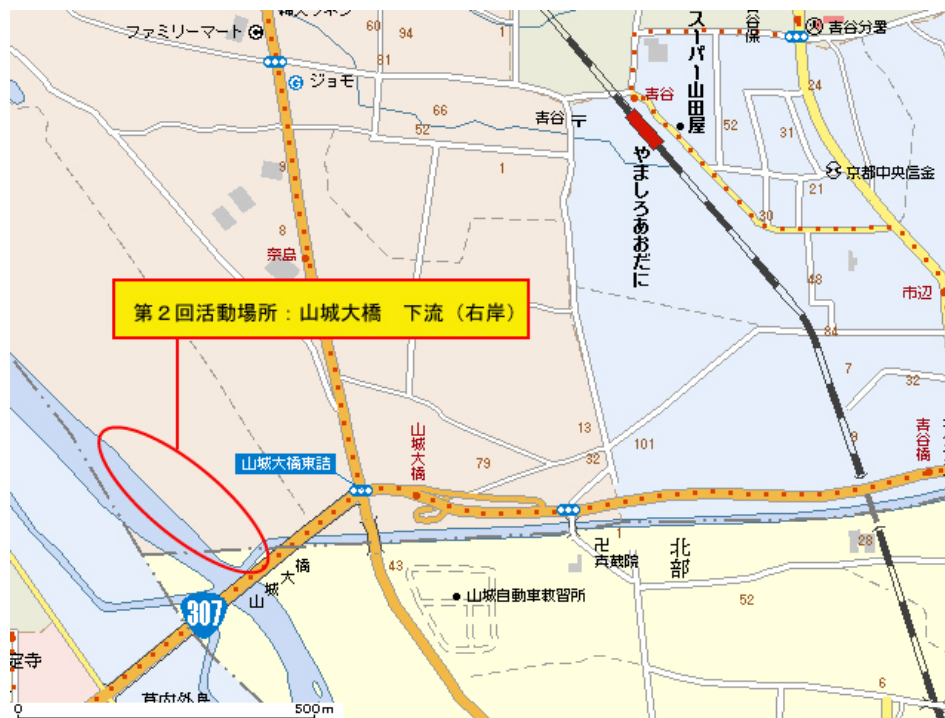
- ・第1回 7月26日（日） 開橋
- ・第2回 8月23日（日） 山城大橋
- ・第3回 9月13日（日） 流れ橋

(5) 実施場所

第1回 開き橋 木津川市山城町北川原 流域センター



第2回 山城大橋 城陽市山城大橋東詰付近



第3回 流れ橋 八幡市岩田 流ればし付近



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで野募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー
水質検査指導：京都府立木津高校化学クラブ：8名（顧問山田信人教諭）

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

- ・学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への参加案内チラシ送付
- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力
- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

講師謝金（必要時）

水質検査試験市と器具の提供

<沿川自治体>

この容易な鳥海が連携できる組織や団体の自治体からの所言う会

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師依頼 協力スタッフ依頼と手配 打合せ

募集案内チラシ作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

安全通路の確保作業 会場地の安産調査 テント設置場所の選定

参加も言う仕込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

参加申し込みがたゆむ方法で届けられるので締め切りがキチンとできない
必着日で締め切りたい 遅れて到着した人への断りの手続きが面倒。
まとめの内容などは参加者に届けられない 部内資料の域を出ないのが残念です。

(11) 活動を行ううえでの課題等

昨年の経験から1ヶ月前に案内チラシを市町教育委員会に届け各学校への配布をいらした。ところが現場の学校等では全生徒への配布がされていないところがあった。
魚とりや防災などの取り組みについて、名義使用の後援依頼にも応じてくれない自治体もあった。
雨模様の場合実行についての窓口問合せ対策を検討しておきたい。

(12) その他

1.2.4 . 活動 e 親子花見の会

(1) 活動目的

地域の水路として改修され桜並木が整い美しい景観を作り、憩いの場所京田辺の桜の名所としての地位を築きつつある防賀川に、昨年農業用水路を活用し貯水の上小舟による桜を見る会を開催した。約 3 時間に 170 人の乗船希望者を迎え楽しい取り組みであった。今年もさらに地元自治会や区に加えて商店街の加入を得て、地域のイベントを開催する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	5日(日)	実施計画の立案 会場(場所)の確認 駐車場の確保 広報手配 参加呼びかけの手配 チラシ配布 講師とスタッフ手配 会場確保(雨天対策として) 会場への通路整備 資料作成 案内看板の作成と設置 安全対策の打合せ 講師スタッフ打合せ 水質検査報告
	5月		結果とまとめの作成
	6月		
	7月		
	8月		反省会と次年度の取組打合せ
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		次回の取組検討
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定 員 乗船希望者 180 人 先着予約とする

(3) 実施内容

木津川の説明 水害のお話 水のお話をする 水の音を聞く 桜の話

河川レンジャーについて 実績報告展示 内排水施設の説明

当日のプログラム

9:00 スタッフ集合 受付

9:30 会開の挨拶 主旨説明 講師紹介 注意事項連絡

10:00 乗船開始

15:30 解散

(4) 実施日

平成 20 年 4 月 5 日 (日)

(5) 実施場所

京田辺市河原 防賀川 田辺団地第 2 公園



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで野募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- 協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー
水質検査指導：京都府立木津高校化学クラブ：8名（顧問山田信人教諭）

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

- ・学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への参加案内チラシ送付
- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力
- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

講師料金（必要時）

水質検査試験用試薬と器具の提供

<沿線自治体>

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師依頼 協力スタッフ依頼と手配 打合せ

募集案内チラシ作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

安全通路の確保作業 会場の安産調査 テント設置場所の選定

参加も言う仕込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

交通安全対策の強化が必要

乗船場の安全対策が必要

(11) 活動を行ううえでの課題等

スタッフの増加と持ち場など役割の徹底

学生（摂南・同志社）などとの連携強化を図る

カヌー教室の開催も可能である。検討すること

(12) その他

1.2.5 . 活動 d ツバメのねぐら入り観察

(1) 活動目的

近畿地方で最も多くのツバメが集中するのが向島のヨシ原だと言われている。東西南北から戻ってくる姿は圧巻である。日本にこのような鳥の集中する場所がこんな身近に存在していたのかというのが参加者の感想である。しかし実際にこの場所を訪れた方々は少ない。それは夕暮れの短時間のセレモニーだからである。ここでの体験から自然の姿を知り、地球環境保全の必要性を理解されるきっかけとして開催する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		実施計画の立案 会場（場所）の確認 駐車場の確保 広報手配 参加呼びかけの手配 チラシ配布 講師とスタッフ手配 会場確保（雨天対策として）
	6月		借用物手配
	7月		
	8月	8日（土）	会場への通路整備 資料作成 案内看板の作成と設置 安全対策の打合せ 講師スタッフ打合せ 水質検査報告結果とまとめの作成
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定 員 各会場 100名（小学生50名 保護者50名）

幼児（保護者随伴のこと）

(3) 実施内容

巨椋池 干拓事業について

伏見城と太閤堤の説明

当日のプログラム

15：00 近鉄桃山駅集合 御香宮見学 中書島・三栖の閘門資料館見学。

18：30 観月橋、近鉄鉄橋、宇治川左岸を下る。観察場に到着、夕食
ツバメのお話、巨椋池の干拓事業について説明。

19：30 観察後、現地解散。（向島駅 観月橋駅）へ

(4) 実施日

8月8日（土） 午後3時～7時30分

(5) 実施場所

近鉄桃山駅～中書島～観月橋～宇治川堤～ 約6km



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで野募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー 菊池さん 山本雅晃氏

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・学校教育機関、その他名簿に基づく諸団体への参加案内チラシ送付
- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載
依頼協力

- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

講師料金（必要時）

< 沿線自治体 >

このような取り組みが連携できる組織や団体を自治体からの紹介
取組案内の広報

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

講師依頼 協力スタッフ依頼と手配 打合せ

募集案内チラシ作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

安全通路の確保作業 会場地の安産調査 テント設置場所の選定

参加も言う仕込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

夕立の強襲にあって、急遽中止し、駅に引き返した。 激しい雷に出会った。
しかし、上空の異常があり、ツバメは低空飛行余儀なくされ、通年より低く飛び目の高さで観察できた。 逆にラッキーだった面もあり幸運と言うこともできた。
気象の予知など検討しておくべきであった。
まとめの内容などは参加者に届けられない。 部内資料の域を出ないのが残念です。

(11) 活動を行ううえでの課題等

素晴らしい天空のショーをぜひとも多くの方々に観察していただきたい。
雨模様の場合実行についての窓口問合せ対策を検討しておきたい。

(12) その他

1.3. 木津川清掃

1.3.1 . 活動 f 京田辺市域

(1) 活動目的

レンジャー活動が始まる前から里山の会として清掃活動を行ってきた。この流の上で数年前から京田辺市生活学校の皆さんと共同作業を行い 恒例の取組となっている。事前の看板案内で呼びかけに応じてくれる人が生まれ、定着してきた。こうした小さな取組を継続していく。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施計画の立案 広報手配 参加呼びかけ作業 チラシ作製 配布
	5月		参加団体との打合せ 参加名簿作成
	6月	6日(土)	資料作成 収集物の撤収確認 結果まとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象：京田辺市域の方々。その他有志の方大歓迎。

定員：なし 当日集合点に参集

(3) 実施内容

- ・山城大橋から手原川までの堤防天端のサイクリングコースを清掃する

(4) 実施日

- ・平成 21 年 6 月 6 日 土曜日 午前 10 時～12 時

(5) 実施場所

- ・京田辺市域
- ・山城大橋～手原川まで
- ・集合地点 近鉄鉄橋下 運動公園入り口



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで野募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましる里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事
掲載依頼協力

・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼
資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

1.3.2 . 活動g 木津川クリーンアップ

(1) 活動目的

木津川の両岸には農耕地があり、堤防上の散策は大変気持ちのいいものである。一方不法投棄のごみもされやすいところである。この間中流域全域の清掃を呼びかけてきたしかし、成果は目に見えるようには現われてきてない。ところが散策の人々などとの顔見知り徐々に広がり、協力者も生まれてきたように見える。今回で呼びかけポスターの掲示は3回目になるので皆さんに気をつけていただくようになってきた。今年はレンジャーが3名に増加したので上中下流と分担して取組を強化する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		実施計画の立案 広報手配 参加呼びかけ作業 チラシ作製 配布
	5月		参加団体との打合せ 参加名簿作成
	6月	20日	資料作成 収集物の撤収確認 結果まとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
定 員： なし

(3) 実施内容

呼びかけに賛同される皆さんや団体が自主的に参加していただく
収集ゴミの集積場所を堤防上に設定し、レンジャーまで連絡をいただく。
・国土交通省が速やかに収集していただく
・大型ごみの持ち込みも考えられるので当日収集を検討いただく。
ゴミ袋の支給は事前に請求があれば準備し、受け取りに来ていただく

(4) 実施日

・平成 21 年 6 月 20 日（土） 午前 10 時～12 時

(5) 実施場所

・木津川沿川（八幡管理分界点から泉大橋）
清掃範囲は各団体で決定していただく（分相応に）



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ	やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定）	河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力
 - ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼
- 資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

1.4. 貴重植物モニタリング（全域）

（１）活動目的

堤防は人びとの暮らしや財産を水害から守る役割を受持っている貴重な施設です。この施設の管理に堤防の草刈が行われています。木津川は、河川の砂を使った堤ですから貧栄養で貴重な植物が生育しています。それらは以前、家畜（牛など）の餌や堆肥に使った、土手や里山道の草が使われていました。ところが農業の機械化などで必要性がなくなり、草刈が行われなくなりました。

しかし、国交省の河川管理上、堤防の草刈は結果的に以前の自然管理の役割を踏襲維持されて、貴重植物の成育に大きな貢献をしています。やましろ里山の会の調査によって、木津川の堤防には 917 種の植物が生育し、そのうち絶滅危惧植物 27 種を確認しています。また、絶滅危惧種には指定されていませんが、見かけることが少なくなった花の大群落（花のジュータン）もあちらこちらに残されています。こうした素晴らしい自然を保全するため、モニタリング調査を実施します。今年は群落に焦点を当ててみたいと思う。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	2回	モニタリング確定
	5月	2回	
	6月	2回	
	7月	2回	
	8月	2回	
	9月	2回	
	10月	2回	
	11月	2回	
	12月	1回	
平成 22 年	1月	1回	
	2月	2回	年間調査結果のまとめ
	3月	2回	年間調査のまとめ

(3) 実施内容

モニタリング市ノ干鄭

モニタリング地点の撮影

貴重植物の生育調査 多様性調査 固定地点からの写真撮影

(4) 実施場所

恭仁大橋～管理分界点 左岸右岸



(5) 実施日

毎月1回以上

(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：10名
講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

部外者進入禁止の車止めのカギの借用。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

継続した調査はなかなか時間調整が難しく定期間隔にとられないように実施する

(11) 活動を行ううえでの課題等

無理をせずに継続できる事が課題。

(12) その他

1.5. 木津川ってどんな川

1.5.1. 活動h 皆でつくろう木津川紹介

(1)活動目的

今日ではたんに水の流れている川という認識が定着している。過去の大水害などは忘れ去られて生活されている。こうした時に暮らしの中を流れるという川・木津川についての概要を分かり易く説明し、ガイドできる資料として「木津川はどんな川」を作成できた。これの活用をあらゆるチャンスを生かして活用し、木津川への理解を深め身近に感じていただくために実施する。また大切な資料を加えて楽しいひと時を提供したい。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	修正	資料収集 参加者募集
	5月		
	6月	地域で考えよう防災で使用	
	7月	編集会議 2 か月に 1 回開催	
	8月		
	9月	年間出前講座で使用	
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月	↓	
	2月	1年間のまとめ	
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：地域住民どなたでも

定 員：なし

(3) 実施内容

河川レンジャーが中心となって修正訂正を行う

(4) 実施日

資料はパワーポイントなどで作成する

2か月に1回程度、編集会議を開催する

木津川に関わる歴史・災害・植物・動物などの資料を収集する

年齢別など対象者に分かりやすい編集を考える

四季折々の川の姿を織り込むなど、地域の写真など資料に影響いただく。

(5) 実施場所

木津川沿川の市町村

(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）

講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

1.5.2 . 活動 i 木津川出前講座

(1) 活動目的

昨年度作成した「木津川はどんな川」のスライドを用いて木津川出張所管内の自治体や河川施設利用団体を訪ね出前講座を開かせていただく。取り組みを通じて木津川の姿の理解を進め、木津川や河川の課題、水問題や環境問題への関心を高め、身近に木津川を引き寄せていただくために出かけていく。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月	出前講座 要望のある地域要請して受け入れていただける地域と団体に出向く	
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月	↓	
	3月		実施結果をまとめる

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民と団体

(3) 実施内容

「木津川はどんな川」をパワーポイントを使ってプレゼンテーションをする
年間活動の紹介も行う。

(4) 実施日

年間を通じて開催する

レンジャー活動で時間の余裕があるときには発表する。

(5) 実施場所

要望のある処ではいつでも可能な限り優先で出張する

(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）

講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力
- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼
資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

積極的に開催要請を行わない限り、チャンスは訪れてこないのも、大いに売り込みに売り出しに工夫をすることが必要である。

運営会議参加団体や自治体関係者の方々のご協力を得ることが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

資料収集には貪欲な働きかけがなければかなり苦労する。これも関係者の協力を得られるように日常的な人間関係を強めることが大切で、そのための時間を作りだす努力をする。

(12) その他

1.5.3 . 活動j 京田辺市 市民文化祭展示出店

(1) 活動目的

各地で開催される催しで活動紹介を展示することは、レンジャー活動を広く宣伝する場として最適である。昨年ささやかであったがこのような取り組みをすることであったのかといった評価を得た。こうした地道な積み重ねによってレンジャー活動ひいては木津川についての理解を深めることができる。こうした成果を踏まえて今年も参加する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		展示企画の決定
	10月		展示物の作成
	11月	1・2・3日	実施結果をまとめる
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民と団体 特になし

(3) 実施内容

「木津川はどんな川」とレンジャー活動の紹介
年間活動の紹介も行う。

(4) 実施日

平成 21 年 11 月 1・2・3 日 (日・月・祝)

(5) 実施場所

京田辺市市立 中央体育館



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましる里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましる里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

企画内容を早く決定する

(11) 活動を行ううえでの課題等

展示説明のできる人的配置が必要

(12) その他

1.5.4 . 活動j 木津川レンジャー展示 セセらぎまつり

(1) 活動目的

各地で開催される催しで活動紹介を展示することは、レンジャー活動を広く宣伝する場として最適である。昨年ささやかであったがこのような取り組みをすることであったのかといった評価を得た。こうした地道な積み重ねによってレンジャー活動ひいては木津川についての理解を深めることができる。こうした成果を踏まえて今年も参加する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		展示企画の決定
	10月		展示物の作成
	11月	14・15日	実施結果をまとめる
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月	▼	

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民と団体

(3) 実施内容

「木津川はどんな川」をパワーポイントを使ってプレゼンテーションをする
年間活動の紹介も行う。

(4) 実施日

・平成 21 年 11 月 14 日(土)、15 日(日)

(5) 実施場所

京田辺市草内 中部住民センター セせらぎ祭り



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名(運営補助、安全管理)
講師(予定) 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

・ 運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

・ 新聞各社への記事提供と掲載協力依頼
資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

企画内容を早く決定する

(11) 活動を行ううえでの課題等

展示説明のできる人的配置が必要

(12) その他

1.5.5 . 活動 j 木津川展示会

(1) 活動目的

昨年度作成した「木津川はどんな川」のスライドを用いて木津川出張所管内の自治体や河川施設利用団体を訪ね出前講座を開かせていただく。取り組みを通じて木津川の姿の理解を進め、木津川や河川の課題、水問題や環境問題への関心を高め、身近に木津川を引き寄せていただくために出かけていく。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		展示物の作成、講演 実施結果まとめ
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月	通年	
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月	▼	

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民と団体

(3) 実施内容

「木津川はどんな川」をパワーポイントを使ってプレゼンテーションをする
年間活動の紹介も行う。

(4) 実施日

年間を通じて開催する

レンジャー活動で時間の余裕があるときには発表する。

(5) 実施場所

要望のある処ではいつでも可能な限り優先で出張する

(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）

講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

積極的に開催要請を行わない限り、チャンスは訪れてこないのも、大いに売り込みに売り出しに工夫をすることが必要である。

運営会議参加団体や自治体関係者の方々のご協力を得ることが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

資料収集には貪欲な働きかけがなければかなり苦労する。これも関係者の協力を得られるように日常的な人間関係を強めることが大切で、そのための時間を作りだす 努力をする。

(12) その他

1.5.6 . 木津川ってどんな川活動発表会

(1) 活動目的

河川レンジャーの年間活動の発表の場所として開催する。同時に木津川への理解を深めていただける展示にする。出展希望者や団体を募り豊かな木津川祭りを目指す。施設の存在を広く社会に認識していただく催しとして開催する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月	14～20日	
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者：流域住民

(3) 実施内容

河川レンジャーの活動報告

活動団体からの展示募集も受付けて内容豊かにする。(交流会参加団体)

植物 魚 遺跡 環境 木津川の変遷などの展示

(4) 実施日

- ・平成 22 年 2 月 14 ~ 20 日

(5) 実施場所

木津川市山城町北河原 木津川流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ	やましろ里山の会：5名(運営補助、安全管理)
講師(予定)	河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

・ 運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

・ 新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

1月24日の交流会に参加していただいた団体と個人の皆さんの協力を得て推進する。新しい連携のきっかけにしていきたい

(12) その他

1.6. 地域で考えよう防災

(1) 活動目的

近年異常気象現象が急増して神戸の河川での死亡事故を引き起こすようになった。木津川地域では大規模水害の発生も少なく、小規模な洪水も激減して至極平穏な状況を呈している。木津川の堤防についても信頼度はゆるぎないもののように見えている。こうした時水害への備えと体験実習は重要である。今回は流域センターを利用して対検をする。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月	25日(土)	
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民（小学生は以下は保護者同伴）

定 員：なし 参加者の申し込みを受け付ける 最大 100 名まで（予定）

(3) 実施内容

過去の水害の記録を話す

土嚢づくり体験

ハザードマップの説明

(4) 実施日

平成 21 年 7 月 25 日（土）

(5) 実施場所

木津川管内流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましる里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

<国土交通省>

募集案内の送付協力

・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

積極的に開催要請を行わない限り、チャンスは訪れてこないもので、大いに売り込みに売り出しに工夫をすることが必要である。

運営会議参加団体や自治体関係者の方々のご協力を得ることが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

資料収集には貪欲な働きかけがなければかなり苦労する。これも関係者の協力を得られるように日常的な人間関係を強めることが大切で、そのための時間を作りだす努力をする。

(12) その他

1.7. 防災施設の見学

(1) 活動目的

木津川沿川における水問題は長年排水対策を課題としてきた。国営第1号の干拓事業として巨椋池が取り組まれ、三川合流部の変更、木津川宇治川の河床低下が近年進んできた。そして古川と防賀川の排水機場や京大防災研究所、三栖の閘門や資料館を見学して、淀川流域の施設の役割を理解するために開催する。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成21年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成22年	1月		
	2月		
	3月	▼	

(2) 参加対象者・定員

参加対象者：運営会議対象区域内の流域住民

定 員： 25名 先着順で受け付ける

(3) 実施内容

施設見学

(4) 実施日

未定 国交省 淀川河川事務所と調整して決定

(5) 実施場所

森排水機場



宇治川排水機場



京大防災研究所



三栖閘門



(6) 広報・募集方法

- ・ 淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・ 運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・ 京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・ やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・ 運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ	やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）
講師（予定）	河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・ 運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力
- ・ 新聞各社への記事提供と掲載協力依頼
資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案

募集案内チラシとポスターの作製

広報活動 参加者募集

借用物の手配と点検

参加申し込みの受付 参加者名簿の作成

当日の運営

アンケートの作成とまとめ

活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

積極的に開催要請を行わない限り、チャンスは訪れてこないもので、大いに売り込みに売り出しに工夫をすることが必要である。

運営会議参加団体や自治体関係者の方々のご協力を得ることが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

資料収集には貪欲な働きかけがなければかなり苦労する。これも関係者の協力を得られるように日常的な人間関係を強めることが大切で、そのための時間を作りだす努力をする。

(12) その他

1.8. 木津川沿川活動団体交流会

(1) 活動目的

昨年度作成した「木津川はどんな川」のスライドを用いて木津川出張所管内の自治体や河川施設利用団体を訪ね出前講座を開かせていただく。取り組みを通じて木津川の姿の理解を進め、木津川や河川の課題、水問題や環境問題への関心を高め、身近に木津川を引き寄せていただくために出かけていく。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		展示企画の決定
	12月		展示物の作成
平成 22 年	1月	24日	実施結果をまとめる
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

運営会議対象区域内の流域住民と団体

(3) 実施内容

「木津川はどんな川」をパワーポイントを使ってプレゼンテーションをする
年間活動の紹介も行う。

(4) 実施日

年間を通じて開催する

レンジャー活動で時間の余裕があるときには発表する。

(5) 実施場所

要望のある処ではいつでも可能な限り優先して出張する

(6) 広報・募集方法

- ・淀川河川レンジャーホームページへの募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内掲載
- ・京都・毎日・朝日等新聞各社への募集案内記事提供と掲載依頼
- ・やましろ里山の会ホームページで募集案内掲載
- ・運営会議対象区域内の学校教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ やましろ里山の会：5名（運営補助、安全管理）

講師（予定） 河川レンジャー

(8) 必要支援内容

< 国土交通省 >

募集案内の送付協力

- ・運営会議対象区域内の自治体及び公的施設への参加案内送付と広報紙への記事掲載依頼協力

- ・新聞各社への記事提供と掲載協力依頼

資料・アンケートの印刷

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

実施計画の立案
募集案内チラシとポスターの作製
広報活動 参加者募集
借用物の手配と点検
参加申し込みの受付 参加者名簿の作成
当日の運営
アンケートの作成とまとめ
活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

積極的に開催要請を行わない限り、チャンスは訪れてこないなので、大いに売り込みに売り出しに工夫をすることが必要である。

運営会議参加団体や自治体関係者の方々のご協力を得ることが必要である。

(11) 活動を行ううえでの課題等

資料収集には貪欲な働きかけがなければかなり苦労する。これも関係者の協力を得られるように日常的な人間関係を強めることが大切で、そのための時間を作りだす努力をする。

(12) その他

2. 木津川出張所管内河川レンジャー 福井波恵

2.1. 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする 福井レンジャーは以下の活動テーマのもと、10つの活動を実施します。

活動テーマ

木津川流域の自然観察、体験活動、クリーン活動を通して木津川を身近なものにする。

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
環境保全を図る活動	木津川調べ 活動1 自然観察会 活動2 川で遊ぼう 魚とり 活動3 川の学校 活動4 上狛川ジャンボタニシ駆除 活動5 木津川モニタリング (魚、鳥、植物) 木津川清掃 活動6 木津川クリーンアップ
河川の適正な利用 歴史・文化の普及活動	木津川って 活動7 環境祭り展示 活動8 木津川の展示 ワ ークショップ 活動9 木津川沿川活動団体活動 交流会 どんな川 活動10 木津川出前授業
防災の推進を図る活動	

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	26日(日) 川の学校 加茂町赤田川生きもの調査	
	5月	24日(日) 川の学校 和束町和束川生きもの調査	
	6月	14日(日) 自然観察会 山城町三上山 デ・レーケ堤・天井川・生きものた ち	山村 R、田中 R と連携
		20日(土) 木津川クリーンアップ	
	7月	5日(日) 山城町上狛川 ジャンボタニシ駆除	山村 R、田中 R と連携
		26日(日) 木津川 川と遊ぼう 魚とり(開橋)	
	8月	2日(日) 山城町上狛川 ジャンボタニシ駆除	山村 R、田中 R と連携
		23日(日) 木津川 川と遊ぼう 魚とり(山城大橋)	
	9月	6日(日) 山城町上狛川 ジャンボタニシ駆除	山村 R、田中 R と連携
13日(日) 木津川 川と遊ぼう 魚とり(流れ橋)			
10月	25日(日) 川の学校 井手町玉川魚調査		
11月	14日(土) 環境祭り展示 (木津川市リサイクルセンター)		
12月			
平成 22 年	1月	26日(日) 木津川沿川活動団体活動交流会 (流域センター)	山村 R、田中 R と連携
	2月	14日(日) 木津川の植物、魚、鳥の展示 ~20日(日) (流域センター)	山村 R、田中 R と連携
	3月		

2.2. 木津川調べ活動 1 自然観察会 デ・レーケ堤・天井川・生き物たち

(1) 活動目的

南山城地域の山地の多くが花崗岩からできており、その崩壊による土砂流出は木津川とその支流を天井川にし、江戸時代より住民は水害との闘いを強いられてきた。特に山城町、井手町の天井川は昭和 28 年の大豪雨に決壊し、多くの被害を引き起こし、山を守ることの大切さを人々に教えることになった。しかし、堤防の強化、河川改修により水害の恐怖が忘れられるようになると、生活圏の後背にある山々が花崗岩というもろい地質からできていることを忘れ、開発と山の荒廃を推し進めても平気であるようになってしまった。

山城町には、先人の努力のデ・レーケ堤や崩壊しつつある花崗岩の崖、森林を守るボランティア団体のサン・フォレスターの森などこれらのことを考えていく上で格好の場所がそろっている。川の問題は山を抜きにしては考えられない子をこの自然観察を通して認識していくことを目的としてこの活動を提案する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		企画立案 広報手配資料作成 講師・スタッフ依頼打ち合わせ コース下見 結果まとめ
	5月		実施計画案立案 広報手配寝参加呼びかけチラシ作製、配布
	6月	14日(日)天井川と砂防ダム、自然観察 山城町三上山～鳴子川～木津川	当日運営 結果まとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
平成 22 年	12月		
	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象： 運営会議対象区域内の流域住民(小学生以下は保護者同伴)

定員 : 20人

(3) 実施内容

デ・レーケ堤 花崗岩の崩壊現場 サン・フォレスターの森 天井川と生き物調査

午前9時30分 流域センター集合 日程説明 講師紹介 自己紹介

9時50分 砂防公園 デ・レーケ堤観察 説明

10時40分 サン・フォレスターの森と砂防堤池、堤防観察 モリアオガエル

11時00分 天井川 鳴子川の観察と魚調査

11時50分 流域センター まとめ

12時00分 流域センター 解散

(4) 実施日

6月14日(日)

(5) 実施場所 集合場所 木津川市開橋横流域センター

山城町 不動川砂防歴史公園～森林公園～鳴子川



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と
当日取材依頼
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への
募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ : やましろ里山の会 5名(運営補助、安全管理)
- ・講師予定 : 未定

(8) 必要支援内容

国土交通省

砂防公園に行くのにマイクロバスが必要。利用できるようにしていただきたい。

森林公園入園料が必要なので、必要経費としてお願いしたい。

講師料をお願いしたい。

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案 現地下見 資料作り
- ・協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ 広報活動
- ・当日の運営 アンケートまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

2.3. 木津川調べ活動 2 川であそぼう 魚とり

(1) 活動目的

木津川には、約 30 種類の魚が生息していますが、水量の減少、河床の低下、河川敷の拡大と森林化、ワンドの消失という川環境の変化と外来魚のオオクチバス、ブルーギル、その上近年増えてきたカワウによる被害などで、その量は年々減少しています。一方、子どもたちは事故への危惧から川から遠ざけられ、川に接する機会はきわめて少なくなっています。

しかし、砂川といわれる木津川は河原と砂浜が広がり、川遊びをする安全な場所があり、これまでの 4 年間に実施してきた「木津川で魚をとろう」には、多くの親子が参加し、「木津川にこんなにたくさんの魚がいると初めて知った。」「親子ともども初めての魚とり、とても楽しかった。」「木津川を大切にしていきたい。」などと、木津川を見直す良い機会になっています。また、昨年のロープを使った救助訓練は、もっと体験したいという子供たちの声を引き出しました。

また、「河川レンジャーになるにはどうしたらいいですか。」という小学生も出てきて、川遊びを通して川に親しむことが、川への関心を深め、川を愛する人づくりの一步になっています。

「川であそぼう 魚をとろう」は、以下の目的のもとに実施します。

木津川に生息する魚、水生生物を捕まえる楽しさを体験し、木津川に様々な生き物がいることを知る。

魚とりや水質検査を通して、木津川の現状を知り、木津川への関心を高める。

簡単な救助訓練を通して、川の恐ろしさを知り救助の初歩的な技術を身につける。

親子で自然に親しむ活動を体験することで自然、環境への関心を深める。

・山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーとの共同開催とする。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		実施計画の立案 会場の確保 駐車場の確保 広報手配 講師とスタッフ依頼 雨天対策（会場確保） 後援申請
	6月		借用物手配 チラシ配布
	7月	26日(日)実施 流域センター100人	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 水質検査実施 安全対策等前日準備 結果まとめ
	8月	23日(日)実施 山城大橋 100人	7月26日と同時進行
	9月	13日(日)実施 流れ橋（上津屋橋）100人	7月26日と同時進行
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
- ・定員：第1回 木津川流域センター 開き橋上流・下流右岸 100人
第2回 山城大橋下流ワンド 右岸 100人
第3回 流れ橋ワンド 左岸 100人

(3) 実施内容

山村レンジャー・福井レンジャー・田中レンジャー共催で実施

木津川の説明、水害の話、魚の話

魚のとり方を教える

雨天の場合、ペットボトルなどでモンドリづくり指導、魚の展示説明

プログラム(第1回)

- 9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介
- 9:30 現地移動
- 10:00 現場説明 注意事項の徹底
- 10:15 魚とり開始
- 11:30 休憩の後3コーナーに分かれる
魚の話 水質検査 河川救助訓練
- 12:30 自由時間
- 13:15 まとめ(採取した魚の確認) 総括 感想 後方付け
- 14:00 解散

プログラム(第2回)

- 9:00 現地移動
- 9:30 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介 注意事項説明
- 10:00 魚とり開始 水質調査(同時進行)
- 11:00 3コーナーに分かれる
魚の話 水質検査 河川救助訓練
- 11:40 休憩 昼食
- 12:15 魚とり開始
- 13:15 まとめ(採取した魚の確認) 総括 感想 後方付け
- 14:00 解散

プログラム(第3回)

- 9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介
- 9:30 現地移動
- 10:00 現場説明 注意事項の徹底
- 10:15 魚とり開始 水質調査(同時進行)
- 11:30 休憩 木津川と魚の話
- 12:15 自由時間
- 13:15 まとめ(採取した魚の確認) 総括 感想 後方付け
- 14:00 解散

(4) 実施日

- ・第1回 平成21年7月26日(日)
- ・第2回 平成21年8月23日(日)
- ・第3回 平成21年9月13日(日)

(5) 実施場所

第1回 木津川流域センター 開橋上流 左岸



第2回 山城大橋下流 右岸



第3回 流れ橋 左岸



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ : やましろ里山の会 5名 + 4名(運営補助、安全管理)
- ・魚講師予定 : 原 英範
- ・水質調査指導 : 京都府立木津高校科学クラブ8名(顧問:山田 信人教諭 他部員)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- 募集案内の送付
- 資料印刷 アンケートの印刷
- 講師謝金の支払い
- 水質検査試験紙と器具の提供
- 安全対策の救助ロープ 5 セット
- 安全対策の救命具 100 セット

沿川自治体

- 広報紙での案内記事掲載

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼と協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・募集案内チラシ作成
- ・広報活動 参加者募集
- ・借用物の手配と点検
- ・会場の安全対策 事前調査と安全通路の確保
- ・会場テント設営場所の選定
- ・参加申込み受付 参加者名簿の作成
- ・当日の運営
- ・アンケート、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度は協力スタッフとしての活動参加しての改善点は以下の通り

- ・ 服装の案内

参加者で履物が運動靴のお子様がおられ、川に入ろうか迷っておられる方がいた。また、裸足になる子供もおり、ガラスの破片で怪我をする恐れもあり、今後は、募集案内に服装・履物、注意点など絵・写真などで示すことも検討に入れる。

- ・ 雨天時の連絡体制の確認

雨天時に実施か中止かの参加者への伝達手段を徹底する。

流域センターへの連絡用電話、FAXの設置が必要。

- ・ 参加応募された方への参加可能の可否の早期連絡

連絡不備で先着定員からもれた方の参加があり、ご迷惑をおかけした。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- * 木津川管内河川レンジャーの3人の共同主催としたい。

- * ダム放流の時期など事前確認による安全確認が必要。

2.4. 木津川川調べ 活動計画 3 川の学校

(1)活動目的

この4年間行ってきた「川で遊ぼう 魚をとるり」で多くの親子に川遊びの楽しさを体験してもらうことができ、魚や川に興味を持った親子が「川の学校」に様々な目的を持って参加するようになってきている。この「川の学校」は、魚調査、自然観察を行い、木津川の記録づくりとともに、活動できる仲間を募り、木津川を理解する人を増やし、川ガキ育成を目指して開催する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	26日(日)川の学校 赤田川生き物調査 (蛍復活に向けて)	参加呼びかけ手配(加茂町を中心として) 里山の会ホームページ チラシ配布
	5月	24日(日)川の学校 和束川生き物調査	参加呼びかけ手配(和束町を中心として) 里山の会ホームページ チラシ配布
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月	25(日)川の学校 井手町玉川の生き物調査	参加呼びかけ手配(井手町を中心として) 里山の会ホームページ
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		

(2)参加対象者・定員

- ・参加対象 : 運営会議対象区域内の流域住民(小学生以下は保護者同伴)
- ・定員 : 20人

(3) 実施内容

・4月 加茂町赤田川 水質、魚、カワニナ調査 加茂町水と緑を守る会とともにする。

ホタルが生息できる条件について引き続き調査する。

・5月 和束町の和束川 水質と魚の調査

・10月 井手町の玉川 魚、カワニナ、カジカ(カエル)調査

(4) 実施日

・いずれも 第4日曜日

(5) 実施場所

・詳細はホームページなどで広報する。

(6) 広報・募集方法

・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載

・やましる里山の会ホームページの募集案内の掲載

・運営会議対象区域内の学校・自治体などへの募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

協力スタッフ：やましる里山の会木津川部会 4名

(8) 必要支援内容

国土交通省

小型水槽 5個 サデ網 記録用ボード

沿川自治体

これらの取り組みができる団体、組織への案内など

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

・実施計画の立案

・協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ

・募集案内チラシの作成

・広報活動、参加者募集

- ・安全通路の確保作業
- ・参加申込受付 参加者名簿の作成
- ・資料作り
- ・当日の運営
- ・アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・用具と道具の常設 下記の用具を流域センターに常設していただきたい。
現在は個人的な用具を使用している。
- ・投網、サデ網、モンドリ、魚用観察水槽セット(大型)2個 小型水槽(10個)
エアープンプ(10個) 延長コード
- ・流域センターに記録用の地図とボードの設置

(11) 活動を行ううえでの課題等

- 流域センターの使用
- 募集案内のチラシに京都府教育委員会の後援を

2.5. 木津川川調べ活動 4 上狛川のジャンボタニシ駆除・生き物調査

(1) 活動目的

山城国一揆の国人を代表する狛氏の環濠集落を囲んで流れる上狛環濠水路は、山城町の歴史的遺物である。現在は、上狛川とよばれ、生活排水路、稲作用水路として利用されているが、水量の減少と水質悪化により、ジャンボタニシが大量発生するようになり、その歴史的景観を損なう事態になってきた。「上狛川を美しくする会」「野遊」を中心として地域住民、子どもたちと共にジャンボタニシの駆除をするようになって2年が経過した。上狛川周辺の住民も自主的に駆除を行うようになり、上狛川に関心をもつ人々が増えてきている。この取り組みを地域の諸団体と協力して取り組むことで、歴史的遺産を守るという地域づくり、川環境作りにつながっていくと考える。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		活動計画の立案 諸団体との 会議 スタッフの依頼
	6月		チラシ作製、配布 資料作成、道具の準備
	7月	5日(日)上狛川ジャンボタニシ駆除・ 生き物調査	当日の運営
	8月	2日(日)上狛川ジャンボタニシ駆除	当日の運営
	9月	6日(日)上狛川ジャンボタニシ駆除	当日の運営 活動のまとめ
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・

- ・参加対象者：山城町住民 小学3年生以下は保護者同伴
- ・定員 : 特になし

(3) 実施内容

- 1 河川レンジャー挨拶
- 2 参加者自己紹介
- 3 ジャンボタニシの説明と駆除の注意
- 4 駆除活動と魚調査
- 5 反省会

(4) 実施日

- ・7月5日 (日) ジャンボタニシ駆除と魚調査
- ・8月2日 (日) ジャンボタニシ駆除
- ・9月6日 (日) ジャンボタニシ駆除

(5) 実施場所

- ・上粕川横 やすらぎタウン中央広場 町民プール駐車場集合



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・やましろ里山の会ホームページの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・自治体などへの募集案内の送付
- ・山城町上粕、椿井地区長への案内、各諸団体への案内

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・スタッフ依頼 : 上粕川を美しくする会、野遊より 5 人
- ・講師 : 菊池宗臣(魚調査)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・チラシ印刷、ジャンボタニシの処理方法、レンジャー資料準備
手袋、ポリ袋準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案 協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ
- ・募集案内チラシの作成 広報活動、参加者募集
- ・安全通路の確保と現地下見 参加申込受付 参加者名簿の作成
- ・資料作り 当日の運営 アンケートのまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

2.6. 木津川調べ活動5 木津川モニタリング 植物、魚、鳥

(1) 活動目的

木津川の堤防、河川敷には様々な植物が生育し、河川林には多くの野鳥が生息している。また、魚の生息しているワンドやタマリは季節により変化しており、魚の生息ポイントを探し、魚を中心として鳥、植物の調査を行い記録することで木津川の自然理解を深め、活動の資料づくりをしていきたい。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	随時2回	カメラ、魚採集用具 記録用紙 望遠鏡
	5月	随時2回	
	6月	随時2回	
	7月	随時2回	
	8月	随時2回	
	9月	随時2回	
	10月	随時2回	
	11月	随時2回	
	12月	随時2回	
平成 22 年	1月	随時2回	
	2月	随時2回	
	3月	随時2回	

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象者 : 特に制限はない
- ・定員 : 特になし

(3) 実施内容

- ・笠置より山城大橋 までの木津川とその支流において観察、採集を行う。

(4) 実施日

- ・年間を通じて1カ月に2回

(5) 実施場所

- ・笠置より山城大橋までの木津川とその支流



(6) 広報・募集方法

- ・広く公募はしない。 木津川部会のメンバーを中心とする。

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・里山の会 木津川部会のメンバー

(8) 必要支援内容

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- 観察,採集、写真撮影、記録

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

2.7. 木津川清掃活動6 木津川クリーンアップ

(1) 活動目的

木津川右岸の北部地域は、農耕地が隣接すると同時に中流域では人家が堤防まで迫り、主要国道が堤防上を通っている。左岸では、全域で一部人家の接近が見られるが比較的農耕地が広がり元風景も残され、散歩やサイクリングなど自転車道を利用する人が多い。こうした状況のもと各所にゴミの放棄が見られる。以上の状況より、次世代へ木津川の環境保全を継承し、より多くの人達が木津川本流にそって私たちの木津川を清掃する活動に参加して頂くために山村レンジャー、福井レンジャー、田中レンジャーの共同の取組とし実施する。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		企画立案 ポスター看板設置 100本 各団体への案内
	5月		連絡受付 呼びかけポスターの貼り出し 50本
	6月	20日(土)実施	手袋、ゴミ袋配布 結果まとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）
- ・定員：特に制限なし

(3) 実施内容

・山村レンジャー・福井レンジャー・田中レンジャー共催で実施

恭仁大橋から三川合流まで兩岸の土手の天端付近のゴミ拾いを行う。

クリーンアップへの参加呼びかけポスターの設置(50本)を4週間前に行う。

日程

午前中の行動とする。午後からゴミの撤収を行う。

兩岸の適当な場所に清掃活動への参加呼びかけポスターを50本立てる。

- ・個人の参加の場合はゴミ持ち帰りをお願いします。
- ・団体参加の場合は事前に参加予定人数と清掃範囲、責任者、ゴミ収集予定地の連絡をいただく。
- ・終了時点で河川レンジャーに連絡いただく。
- ・ゴミ袋の提供を行う。事務所まで受取りに来ていただく。
- ・注意文章を貼っていただくようお願いする。

プログラム

9:00 割当エリア集合 開会挨拶 趣旨説明 自己紹介

9:30 現場説明 注意事項の徹底

9:45 清掃開始

12:00 昼食

13:00 ゴミの撤収、ポスター撤去

15:00 解散

(4) 実施日

平成 21 年 6 月 20 日 (土)

(5) 実施場所

呼びかけ範囲 恭仁大橋から三川合流付近までの範囲



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ: やましろ里山の会 5名(運営補助、安全管理)

(8) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の送付

資料印刷 アンケートの印刷

手袋の支給検討

ゴミ袋の支給検討

収集したゴミの運び出し

呼びかけチラシとポスター印刷

杭の提供50本 ポスターのラミネート50枚 ベニヤ板50枚

収集ゴミの撤収

沿川自治体

広報紙での参加呼びかけなど

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・清掃活動参加呼びかけポスターの掲示貼り出し
- ・広報活動
- ・参加者募集 参加申し出の受付
- ・ゴミ袋の支給手配
- ・当日の運営 ・活動報告のまとめ
- ・立看板の撤収

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ポスター貼り出しを4週間前に行う。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・立看板設置に時間を要する。(昨年は4日要した)

2.8. 木津川ってどんな川活動7 環境祭り

(1) 活動目的

「木津川ってどんな川」については、京田辺市の文化祭、せせらぎ祭りでは何回か展示され好評を得てきている。しかし、木津川市ではまだ一度も紹介されていないので、環境祭りに参加して展示を行い、木津川管内河川レンジャーの存在と活動をアピールし、木津川への関心を高めていきたい。ワークショップでは、空き瓶、ペットボトルなどを再利用することで環境への取り組みを支援していきたい。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		環境祭り参加申込
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		実施計画の立案
	10月		展示物 魚の準備 ワークショップ準備
	11月	14日(土) 環境祭り木津川の魚たち 展示 (木津川市リサイクルセンター)	展示、ワークショップ アンケートまとめ 活動のまとめ
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象 : 運営会議対象区域内の流域住民
- ・定員 : ワークショップ30人

(3) 実施内容

魚の水槽コーナー

河川レンジャーの展示物コーナー

ワークショップのコーナー (ボトルアクアリウム)

(4) 実施日

11月14日(土)

(5) 実施場所

木津川市リサイクル研修センター



(6) 広報・募集方法

- ・木津川市リサイクルセンターの広報
- ・やましる里山の会ホームページ

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ： やましる里山の会 木津川部会 5名 (運営補助、安全管理)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・環境祭りへの参加申し込み アンケート印刷 河川レンジャーの展示物準備
- ・大型水槽 1個 小型水槽 2個 コアポンプ 3個

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ 広報活動
- ・借用物の手配と点検 運営 アンケートまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

(12) その他

2.9. 木津川ってどんな川活動 8 木津川展・・・木津川の紹介と植物、魚、鳥の展示物

(1) 活動目的

木津川の堤防には、917種の植物が生育し、レンリソウを代表とする27種の希少植物が生育している。また、約30種類の魚類を確認し、さまざまな鳥が河原や河川敷の草林に生息している。この3年間の活動で明らかになってきた豊かな木津川の自然を、多くの流域住民に知らせることで木津川への理解を深め、活動への共感と支援を広げること、木津川にかかわる活動の拠点としての流域センターを知らせていくことを目的として流域センターでの展示を行いたい。14日(日)流域センター付近での野鳥観察会を展示オープンの日として、一週間、展示を行い最終日にはワークショップをすることで子供たちへの関心を深める。山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーの共催とする。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		実施計画の立案 広報手配 講師とスタッフ依頼 チラシ 作製
平成 22 年	1月		チラシ配布 展示物、資料作 成 アンケート作り
	2月	2日14(日)～20日(日) 木津川の植物、魚、鳥の展示 流域センター ワークショップ	展示 アンケートまとめ 結果まとめ
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象 : 運営会議対象区域内の流域住民
- ・定員 : ワークショップ 50 人

(3) 実施内容

山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーの共催で実施
流域センターで展示する。 14 日～20 日 午前 10 時～ 午後 3 時

木津川堤防の希少植物 (里山の会より)

木津川の魚水槽 と写真

鳥の写真、鳥の巣、鳥の羽など(野鳥の会 植田氏より)

ワークショップ 20 日(日)のみ

ボトルアクアリウム、ペットボトルモンドリなど

(4) 実施日

2 月 14 日(日)～20 日(日) 午前 10 時～午後 3 時

(5) 実施場所 流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー・ホームページの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会のホームページの募集案内掲載 週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校、教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・やましろ里山の会 5名(運営補助、安全管理)
- ・講師 原 英範氏 (ワークショップ) 植田 光弘 (鳥の説明 野鳥の会)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・募集案内の送付 資料印刷 アンケートの印刷 展示用ボード 大型水槽 2個
 - ・小型水槽 5個 コアポンプ 7個 教材費用
 - ・呼びかけチラシとポスターの印刷 講師謝礼金の支払い
- 沿川自治体
- ・広報紙での参加呼びかけ

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案 講師依頼 協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ 広報活動
- ・参加者募 借用物の手配と点検 教材購入
- ・チラシ、募集案内作成 参加申し込み受け付け 参加者名簿
- ・当日の運営 アンケートまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・魚展示のための水槽、エアポンプ、延長コードなどの準備 展示用ボード展示のための設備を整えていただきたい。

2.10. 木津川ってどんな川活動 9 木津川沿川活動団体交流会

(1) 活動目的

木津川沿川には木津川にかかわる活動をしている団体が数多くあり、お互いに活動を助け合い、情報交換、交流などしているが、一同が集まる機会はまだまだ多くない。

城陽生き物調査隊、環境生物研究会、野鳥の会、木津川植物同好会、木津川を美しくする会、木津川魚業協同組合、藤田カヌー、木津川歴史散歩の会、加茂の水と緑を守る会……。そして河川敷を利用するスポーツ諸団体等。それぞれが、木津川の歴史、自然、環境の過去と未来に深くかかわってきている。

木津川を見渡すことができる流域センターに一同が集い、それぞれの立場から見た木津川の現状を報告し、木津川を総合的にとらえることで、さらなる発展の糸口を見出すことができると考えこの取り組みを計画する。

山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーとの共催とする。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		実施計画の立案 広報手配 チラシ作製
12月		チラシ配布 資料作成 参加者名簿作成 アンケート 作成	
平成 22 年	1月	26日(日) 木津川沿川活動団体交流会	当日の運営 アンケートまとめ 活動のまとめ
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

- ・参加対象： 運営会議対象区域内の活動団体 自治体運営委員
- ・定員 : 20人

(3) 実施内容

山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーの共催とする。

- 1) 参加団体の自己紹介
- 2) 河川レンジャーの紹介と役割
- 3) 「木津川はどんな川」のスライド
- 4) 各団体の活動発表と交流
木津川の現状、木津川に望んでいること(自由発言)
- 5) その他

(4) 実施日

1月26日(日) 午前10時～12時

(5) 実施場所

流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・木津川沿川活動団体、自治体運営委員への実施案内状配布

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ : やましる里山の会 木津川部会 5名

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・案内状配布 資料印刷 アンケートの印刷
- ・淀川管内河川レンジャーの展示物 資料準備

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ 参加者募集
- ・チラシ、募集案内作成 参加申し込み受け付け
- ・参加者名簿 当日の運営 アンケートまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・計画立案、案内状の発送が遅れたので取り組みが不十分になった。発送を早くする。

(11) 活動を行ううえでの課題等

2.11. 木津川ってどんな川活動 10 出前授業

(1) 活動目的

小学校の総合学習で、地域の自然調べが計画されており、子どもたちも楽しんで学習している。木津川とその周辺の川の魚調査、川調べなど支援してきた経過があり、レンジャー活動と木津川への理解を広げていく上でも 出前授業を積極的に進めていきたい。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	希望を募る。学校訪問、案内の発送	授業プラン作成
	5月		
	6月	要請に応じて	
	7月	出前をする	
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月	↓	活動のまとめ
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象者 : 小学生

定員 : 特になし

(3) 実施内容

木津川、支流の魚調査

木津川と魚たち

ジャンボタニシの駆除活動

水と遊ぼう - 水質検査、水の浄化、ボトルアクアリウムづくり

(4) 実施日

学校の要請による。未定

(5) 実施場所

木津川沿川小学校

(6) 広報・募集方法

学校訪問、学校へ資料郵送

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

特になし

(8) 必要支援内容

国土交通省

資料印刷 教材教具の購入

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

計画作り、資料づくり、学校訪問、打ち合わせ、現地下見、当日の授業

感想、アンケートのまとめ、活動のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

(11) 活動を行ううえでの課題等

3. 木津川管内河川レンジャー 田中 秀行

3.1. 活動テーマと活動分野

木津川出張所管内を活動エリアとする田中レンジャーは以下の活動テーマのもと、6つの活動を実施します。

活動テーマ

木津川の環境を体験する

平成 21 年度 活動分野と活動名

活動分野	活動名
環境保全を図る活動	木津川調査 活動 1 川で遊ぼう 魚をとろう
	活動 2 野鳥観察会
	木津川清掃 活動 3 木津川クリーンアップ
	川生物モニタリング 活動 4 木津川モニタリング
河川の救護を学ぶ	救護訓練 活動 5 救護の方法を学ぶ (活動 1 の開催日に予定)
木津川を知る展示活動	木津川ってどんな川 活動 6 木津川展・木津川の紹介

平成 21 年度 年間スケジュール

		活 動 内 容	準 備 等
平成 21 年	4月	25日(土)春の野鳥観察会	
	5月		
	6月	20日(土)木津川クリーンアップ	山村 R、福井 R と連携
	7月	26日(日)木津川での水辺体験	山村 R、福井 R と連携
	8月	23日(日)川で遊ぼう魚をとろう	山村 R、福井 R と連携
	9月	13日(日)川で遊ぼう魚をとろう	山村 R、福井 R と連携
	10月		
	11月	21日(土)秋の野鳥観察会	
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月	14日(日)冬の野鳥観察会 14日から20日 木津川展示会	山村 R、福井 R と連携
	3月		

3.2. 木津川調査

<活動1 . 川で遊ぼう 魚をとろう>

(1) 活動目的

河川の整備、ダム建設によって、川の環境が大きく変わる中、木津川に生息する魚類の種類も多く(約30種)、堤防・河川敷きの動植物を含め自然の姿を多く残している。

しかしながら、ここ3年程の魚とり活動において、種類や数が減少している傾向にある

家庭ゴミの投棄や生活排水による水質の悪化、外来魚のオオクチバスやブルーギルの増加に加え、カワウも年々増加し捕食による固有種や在来魚の減少は着実に進んでいる。また、水量の減少、川底の低下や、砂利の蓄積による、河川環境の変化により、ワンドの減少や河川敷の森林化が進み人と川との繋がりが薄らいでゆき草の茂みにゴミが捨てられ汚い危険な場所として子供達や地域住民と川の接点が減少している。

以上の状況より、次世代へ木津川の環境保全を継承するために、より多くの人達が木津川本流における活動に参加して頂くために以下の目的のもと実施するものとする。

木津川に生息する魚、水生生物を捕まえる楽しさを経験し、木津川にさまざまな生き物があることを知る。

魚とりや水質検査を通し、木津川の現状を知り、木津川への関心を高める。

簡単な救助訓練を通して、川の恐ろしさを知り救助の初歩的な技術を身につける。

親子で自然に親しむ活動を体験することで自然・環境への関心を高める。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		実施計画の立案 会場の確保 駐車場の確保 広報手配 講師とスタッフ依頼 雨天対策（会場確保） 後援申請
	6月		借用物手配 チラシ配布
	7月	26日(日)実施 流域センター100人	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 水質検査実施 安全対策等前日準備 結果まとめ
	8月	23日(日)実施 山城大橋 100人	7月26日と同時進行
	9月	13日(日)実施 流れ橋（上津屋橋）100人	7月26日と同時進行
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員	：第1回	木津川流域センター	開き橋上流・下流右岸	100人
	第2回	山城大橋下流ワンド	右岸	100人
	第3回	流れ橋（上津屋橋）周辺ワンド	左岸	100人

(3) 実施内容

山村レンジャー・福井レンジャー・田中レンジャー共催で実施

木津川の説明、水害の話、魚の話

魚の取り方を教える

雨天の場合、ペットボトルなどでもんどりづ`くり指導、魚の展示説明

プログラム（第1回）

9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介

9:30 現地移動

10:00 現場説明 注意事項の徹底

10:15 魚とり開始

11:30 休憩の後3コーナーに分かれる

魚の話 水質検査 河川救助訓練

12:30 自由時間

13:15 まとめ（採取した魚の確認） 総括 感想 後方付け

14:00 解散

プログラム（第2回）

9:00 現地移動

9:30 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介 注意事項説明

10:00 魚とり開始 水質調査（同時進行）

11:00 3コーナーに分かれる

魚の話 水質検査 河川救助訓練

11:40 休憩 昼食

12:15 魚とり開始

13:15 まとめ（採取した魚の確認） 総括 感想 後方付け

14:00 解散

プログラム（第3回）

- 9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介
- 9:30 現地移動
- 10:00 現場説明 注意事項の徹底
- 10:15 魚とり開始 水質調査（同時進行）
- 11:30 休憩 木津川と魚の話
- 12:15 自由時間
- 13:15 まとめ（採取した魚の確認） 総括 感想 後方付け
- 14:00 解散

（4）実施日

- 第1回 平成21年7月26日（日）
- 第2回 平成21年8月23日（日）
- 第3回 平成21年9月13日（日）

（5）実施場所

- 第1回 木津川流域センター 開橋上流 右岸



第2回 山城大橋下流 右岸



第3回 上津屋橋周辺 左岸



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましる里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ：やましる里山の会 5名 + 4名（運営補助、安全管理）
- ・魚講師予定：原 英範
- ・水質調査指導：京都府立木津高校科学クラブ8名（顧問：山田 信人教諭 他部員）

(8) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の送付

資料印刷 アンケートの印刷

講師謝金の支払い

水質検査試験紙と器具の提供

安全対策の救助ロープ 5セット

安全対策の救命具 100セット

沿川自治体

広報紙での案内記事掲載

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼と協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・募集案内チラシ作成
- ・広報活動 参加者募集
- ・借用物の手配と点検
- ・会場の安全対策 事前調査と安全通路の確保
- ・会場テント設営場所の選定
- ・参加申込み受付 参加者名簿の作成
- ・当日の運営
- ・アンケート、活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

昨年度は協力スタッフとしての活動参加しての改善点は以下の通り

- ・ 服装の案内

参加者で履物が運動靴のお子様がおられ、川に入ろうか迷っておられる方がいた。また、裸足になる子供もあり、ガラスの破片で怪我をする恐れもあり、今後は、募集案内に服装・履物、注意点など絵・写真などで示すことも検討に入れる。

- ・ 雨天時の連絡体制の確認

雨天時に実施か中止かの参加者への伝達手段を徹底する。

流域センターへの連絡用電話、FAXの設置が必要。

- ・ 参加応募された方への参加可能の可否の早期連絡

連絡不備で先着定員からもれた方の参加があり、ご迷惑をおかけした。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ ダム放流の時期など事前確認による安全確認が必要。

3.3. 木津川調査

<活動2．野鳥観察会>

(1) 活動目的

木津川流域センターに隣接する高水敷はワンド、水辺、樹木、芦などがあり、鳥観察の好条件を備えている。

四季を通じての野鳥観察から、次世代へ木津川の環境保全を継承し、多くの人達が木津川本流における活動に参加して頂くために以下の目的のもと実施するものとする。

木津川に集まる野鳥の観察を四季を通じて実施し川環境との関係を学ぶ。

親子で自然に親しむ活動を体験することで自然・環境への関心を高める。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	25日(土)実施 春の野鳥観察会	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地下調べ 結果まとめ
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		実施計画の立案 会場の確保 駐車場の確保 広報手配 講師とスタッフ依頼 雨天対策(会場確保) 後援申請7月27日と同時進行
	10月		チラシ配布
	11月	21日(土)実施 秋の野鳥観察会	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地下調べ 結果まとめ
	12月		
平成 22 年	1月		チラシ配布
	2月	13日(土)実施 冬の野鳥観察会 13日~20日(野鳥展示等)	会場下見 資料作成 通路草刈 スタッフ打合せ 現地下調べ 結果まとめ
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員：木津川流域センター 付近 高水敷と堤防 20人

(3) 実施内容

山村レンジャー・福井レンジャー・田中レンジャー共催で実施

野鳥観察方法を教える

雨天の場合、野鳥の展示説明

プログラム

9:00 集合 開会挨拶 趣旨説明 講師紹介 自己紹介

9:30 現地移動

10:00 現場説明 注意事項の徹底

10:15 野鳥観察開始

11:30 まとめ（観察した鳥の確認） 総括 感想 後方付け

12:00 解散

(4) 実施日

第1回 平成21年 4月25日（土）

第2回 平成21年11月21日（土）

第3回 平成21年 2月13日（土）

(5) 実施場所

木津川市山城町北河原 木津川流域センター付近 高水敷と堤防



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(7) 広報・募集方法

- ・淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(8) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・協力スタッフ：やましろ里山の会 5名（運営補助、安全管理）
- ・講師予定：植田 光弘氏（日本野鳥の会 会員）

(9) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の送付

資料印刷 アンケートの印刷

講師謝金の支払い

沿川自治体

広報紙での案内記事掲載

(10) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・講師依頼と協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・募集案内チラシ作成
- ・広報活動 参加者募集
- ・借用物の手配と点検
- ・会場の安全対策 事前調査と安全通路の確保
- ・参加申込み受付 参加者名簿の作成
- ・当日の運営
- ・アンケート、活動報告のまとめ

(11) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・野鳥をわざと驚かせる子供もあり、今後は、募集案内に注意点など示すことも検討に入れる。

- ・雨天時の連絡体制の確認

雨天時に実施か中止かの参加者への伝達手段を徹底する。

流域センターへの連絡用電話、FAXの設置が必要。

(12) 活動を行ううえでの課題等

- ・周辺川原にて ラジコン飛行機を飛ばす影響で、観察出来る野鳥が少なくなる。また、ラジコン操作ミスによる参加者への怪我等の心配を考慮し、ラジコン飛行機の飛行活動を河川事務局への事前申請とし、観察会と日時が重ならないような仕組みが望ましい。

3.4. 木津川清掃

<活動3 . 木津川クリーンアップ>

(1) 活動目的

木津川右岸の北部地域は、農耕地が隣接すると同時に中流域では時価が堤防まで迫り、主要国道が堤防上を通っている。左岸では、全域で一部人家の接近が見られるが比較的農耕地が広がり元風景が残され、自転車道を利用する人が多い。こうした状況のもと各所にゴミの放棄が見られる。以上の状況より、次世代へ木津川の環境保全を継承し、より多くの人達が木津川本流にそって私たちの木津川を清掃する活動に参加して頂くために山村レンジャー、福井レンジャー、田中レンジャーの共同の取組とし実施する。

平成 21 年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		企画立案 ポスター看板設置 100本 各団体への案内
	5月		連絡受付 呼びかけポスターの貼り出し 50本
	6月	20日(土)実施	手袋、ゴミ袋配布 結果まとめ
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
平成 22 年	1月		
	2月		
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象：運営会議対象区域内の流域住民（小学生以下は保護者同伴）

定員：特に制限なし

(3) 実施内容

山村レンジャー・福井レンジャー・田中レンジャー共催で実施

恭仁大橋から三川合流まで兩岸の土手の天端付近のゴミ拾いを行う。

クリーンアップへの参加呼びかけポスターの設置（50本）を4週間前に行う。

日程

午前中の行動とする。午後からゴミの撤収を行う。

兩岸の適当な場所に清掃活動への参加呼びかけポスターを50本立てる。

- ・個人の参加の場合はゴミ持ち帰りをお願いする。
- ・団体参加の場合は事前に参加予定人数と清掃範囲、責任者、ゴミ収集予定地の連絡をいただく。
- ・終了時点で河川レンジャーに連絡いただく。
- ・ゴミ袋の提供を行う。事務所まで受取りに来ていただく。
- ・注意文章を貼っていただくようお願いする。

プログラム

9:00 割当エリア集合 開会挨拶 趣旨説明 自己紹介

9:30 現場説明 注意事項の徹底

9:45 清掃開始

12:00 昼食

13:00 ゴミの撤収

15:00 解散

(4) 実施日

平成 21 年 6 月 20 日（土）

(5) 実施場所

呼びかけ範囲 恭仁大橋から三川合流付近までの範囲



(6) 広報・募集方法

- ・ 淀川管内レンジャー・ホームページへの募集案内の掲載
- ・ 運営会議対象区域内の自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・ 京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞各社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・ やましる里山の会ホームページへの募集案内の掲載、週刊ニュース掲載
- ・ 運営会議対象区域内の学校・教育機関・父母の会及び図書館等への募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ 協力スタッフ：やましる里山の会 5名（運営補助、安全管理）

(8) 必要支援内容

国土交通省

募集案内の送付

- 資料印刷 アンケートの印刷
- 手袋の支給検討
- ゴミ袋の支給検討
- 収集したゴミの運び出し
- 呼びかけチラシとポスター印刷
- 杭の提供 50本 ポスターのラミネート 50枚 ベニヤ板 50枚
- 収集ゴミの撤収

沿川自治体

広報紙での参加呼びかけなど

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・協力スタッフ依頼と手配・打合せ
- ・清掃活動参加呼びかけポスターの掲示貼り出し
- ・広報活動
- ・参加者募集 参加申し出の受付
- ・ゴミ袋の支給手配
- ・当日の運営
- ・活動報告のまとめ
- ・立看板の撤収

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ポスター貼り出しを4週間前に行う。

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・立看板設置に時間を要する。(昨年は4日要した)

3.5. 川生物モニタリング

<活動4 . 木津川モニタリング>

(1) 活動目的

40年前は木津川のいたるところには白砂の浜があり、高齢の方々から「昔はよく浜で魚とりをした、今より川に簡単に行けた。」という話を聞くことがある。

しかし、近年川の水量の人的な調整による減少と、川砂採取の影響等によるものか、木津川の川底の低下と流れの急激な変動があり、また、外来魚による影響や水質の変動もあり過去3年の魚とり活動において確認できる魚の数・種類にも変化が散見される。

現状の河川環境についての把握を目的とした、木津川管内の本川12箇所において魚を重点に定点調査を含めモニタリングを実施。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月	随時 1回	モニタリング地の確定
	5月	随時 1回	
	6月	随時 1回	
	7月	随時 1回	
	8月	随時 1回	
	9月	随時 1回	
	10月	随時 1回	
	11月	随時 1回	
	12月	随時 1回	
平成 22 年	1月	随時 1回	
	2月	随時 1回	
	3月	随時 1回	

(2) 参加対象者・定員

参加対象：特に制限なし

定員：制限なし

(3) 実施内容

恭仁大橋から三川合流までの本流域で12箇所の現状確認。

魚の生息状況・種類の確認。

水の透明度、目視確認（専用器具は使用しない）

野鳥の種類の確認。

ゴミの不法投棄の確認

(4) 実施日

年間を通じて実施 1ヶ月に1回

(5) 実施場所

恭仁大橋から三川合流付近までの範囲（約50km間隔）



(6) 広報・募集方法

- ・ 特に行わない
- ・ 状況に応じて里山の会メンバーの協力を要請

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ やましる里山の会 魚部会の有志をつのる

(8) 必要支援内容

- ・特になし

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・実施計画の立案
- ・定期観察
- ・写真記録
- ・活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・特になし

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・特になし

3.6. 木津川ってどんな川

<活動6 . 木津川展・・・木津川の紹介と植物、魚、鳥の展示物>

(1)活動目的

木津川の堤防には、917種の植物が生育し、レンリソウを代表とする27種の希少植物が生育している。また、約30種類の魚類を確認し、さまざまな鳥が河原や河川敷の草林に生息している。この3年間の活動で明らかになってきた豊かな木津川の自然を、多くの流域住民に知らせることで木津川への理解を深め、活動への共感と支援を広げること、木津川にかかわる活動の拠点としての流域センターを知らせていくことを目的として、センターでの展示を行いたい。

14日(日)流域センター付近での野鳥観察会を展示オープンの日として、一週間、展示をし最終日にはワークショップをすることで子供たちへの関心を深める。

山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーの共催とする。

平成21年度 年間スケジュール

		実 施	準 備 等
平成 21 年	4月		
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		実施計画の立案 広報手配 講師とスタッフ依頼 チラシ 作製
平成 22 年	1月		チラシ配布 展示物、資料作 成 アンケート作り
	2月	2日14(日)～20日(日) 木津川の植物、魚、鳥の展示 流域センター ワークショップ	展示 アンケートまとめ 結果まとめ
	3月		

(2) 参加対象者・定員

参加対象 : 運営会議対象区域内の流域住民

定 員 : ワークショップ 50 人

(3) 実施内容

山村レンジャー、田中レンジャー、福井レンジャーの共催で実施
流域センターで展示する。 14日～20日 午前10時～午後3時

- a. 木津川堤防の希少植物 (里山の会より)
- b. 木津川の魚水槽 と写真
- c. 鳥の写真、鳥の巣、鳥の羽など(野鳥の会 植田氏より)
- d. ワークショップ 20日のみ
ボトルアクアリウム、ペットボトルモンドリなど

(4) 実施日

2月14日(日)～20日(日) 午前10時～午後3時

(5) 実施場所

流域センター



(6) 広報・募集方法

- ・淀川管内河川レンジャー・ホームページの募集案内の掲載
- ・運営会議対象区域内の 自治体広報紙への募集案内の掲載
- ・京都、朝日、毎日、洛南タイムスなど新聞社に募集案内記事掲載と当日取材依頼
- ・やましろ里山の会のホームページの募集案内掲載 週刊ニュース掲載
- ・運営会議対象区域内の学校、教育機関、父母の会及び図書館などへの募集案内の送付

(7) 協力スタッフ等の人数とその役割

- ・ やましろ里山の会 5名(運営補助、安全管理)
- ・ 講師 原 英範氏 (ワークショップ)
植田 光弘氏 (鳥の説明 野鳥の会)

(8) 必要支援内容

国土交通省

- ・ 募集案内の送付 資料印刷 アンケートの印刷 展示用ボード 大型水槽 2個
- ・ 小型水槽 5個 コアポンプ 7個
- ・ 呼びかけチラシとポスターの印刷 講師謝礼金の支払い

沿川自治体

- ・ 広報紙での参加呼びかけ

(9) 活動における河川レンジャーの活動内容

- ・ 実施計画の立案
- ・ 講師依頼 協力スタッフ依頼と手配 打ち合わせ 広報活動 参加者募集
- ・ 借用物の手配と点検 チラシ、募集案内作成 参加申し込み受け付け
- ・ 参加者名簿 当日の運営 アンケートまとめ 活動報告のまとめ

(10) 昨年度の活動を踏まえての改善点

- ・ 特になし

(11) 活動を行ううえでの課題等

- ・ 魚展示のための水槽、エアポンプ、延長コードなどの準備
- ・ 展示用ボードの準備等、展示のための設備を整えていただきたい。

(12) その他

- 特になし

